

まちの話題

町的话题を紹介しています。
皆さんの身近な情報をご連絡
ください。

連絡先
企画財政課広報広聴係
電話 25 - 2136



「みどりの感謝祭」に特別招待

4月29日の「みどりの日」に、東京都日比谷公園で行われた第17回森と花の祭典「みどりの感謝祭」へ、清里町から花と緑と交流のまちづくり委員会の上三上政夫委員長と橋場町長が特別招待を受け、式典に参加しました。

式典では、秋篠宮殿下・妃殿下のご臨席のもと、農林水産副大臣から記念苗木の贈呈を受けました。

この特別招待は、町民と行政が協働で培ってきた花と緑と交流のまちづくりが、高く評価され、花いっぱい運動の全国の代表として招待されたものです。

また、贈呈を受けた苗木は5月23日の植樹祭の後に役場前庭に記念植樹され、さらに記念写真パネルが橋場町長から三上委員長に贈られています。



世代間交流で「子ども農園」づくり

5月16日、子どもたちとボランティアの方々で体験や交流を通じて野菜などの農作物を育てる「子ども農園」が今年も開設されました。

この事業は、昨年から社会福祉協議会が、関係機関や多くのボランティアの皆さんの協力により実施している事業です。

この日参加したのは、清里保育所とやまと幼稚園、なかよしクラブ園児や児童の約50人。ボランティアの皆さんの指導で、じゃがいもやにんじん、スイートコーンなどの種まきや苗植え作業を行いました。

秋の収穫の時期まで、草取りや花見など世代間の交流を深めるとともに、収穫の喜びや食の大切さを体験を通じて学んでいきます。



札幌と北見でふるさと会が行われました

5月13日、北見市で北見市在住の本町出身者36名の方が集まり、北見清里会（会長 山田光さん・会員172名）の総会が行われました。

橋場町長から、町の今年度の事業の取り組みや、トリノオリンピックでの岡崎朋美さんの活躍、みどりの感謝祭への特別招待などが報告され、参加された会員の皆さんの親睦を深められました。



また、5月21日には、札幌市で札幌近郊在住の本町出身者37名の方が集まり、札幌清里会（会長 長尾義輝さん・会員144名）の総会が行われました。

それぞれの方からは、「自立のまちづくり」や好調な焼酎事業についての質問が出され、ふるさと清里に対する関心の高さがうかがわれました。





町民参加で道路環境美化活動が行われました

5月13日、上斜里の町境界から緑地区までの道道摩周湖斜里線(約20キロメートル)で、約150人の町民ボランティアの皆さんにより沿道に溜まった土砂を撤去するなどの道路清掃が行われました。

これは、昨年に引き続き、地域の景観形成や観光振興、地域づくり活動を行う「東オホーツクシーニックバイウェイ連携会議」が呼びかけたもので、連携会議に町内で加盟している6つの団体のほか、清里町建設業協会や役場職員などが参加しました。また、同日の午後からは、まちづくり運動推進協議会(代表 三上政夫 自治連会長)と町の主催による「春のごみゼロ運動」が行われ、約200人の参加者が集まりました。

道路わきの草むらからは、車から無造作に捨てられたとみられる空き缶などが出てきましたが、一部では例年に比べるとごみが少ない場所もあり、環境美化に対する取り組みの成果が見られました。

しかし、交通量の多い道路沿いではまだまだごみの量も多く、一人ひとりがマナーを守り、清里の美しい景観をいつまでも保てるよう努めなくてはなりません。



木の成長を楽しみに植樹祭

5月23日、江南オートキャンプ場に隣接する江南牧場傾斜地で、町民約120人が参加し植樹祭が行われました。

植樹祭に用意された苗木は、エゾヤマザクラ120本とシラカバ90本。参加者は、苗木とスコップを持って急な坂道を登り、高台から望む景観を楽しみながら一本一本丁寧に植えていました。

あいにくの雨模様のなかでの作業でしたが、参加者たちは「樹木や農作物の生育には貴重な雨だ」と話し、植樹されたばかりの苗木が成長し、清里町の新しい桜の名所が将来誕生することを楽しみにしていました。

万一に備え消防演習

5月21日、プラネット駐車場や市街一円で、清里消防団員など約90名による春季消防演習が行われました。5台のタンク車や3台の積載車など合計10台の消防・救急車両によりポンプ操法や発煙筒を火点に見立てた市街地での模擬火災訓練などが行われました。

また、清里高校吹奏楽部の演奏を先頭に、消防団員、消防・救急車両が町内を分列行進し、火災予防の呼びかけを行いました。

